

お知らせ

四国新聞 2023年3月15日(水曜日)【総合】

タケサンフーズ(小豆島町) 棚田振興で特別感謝状



「つなぐ棚田遺産」特別感謝状を受け取るタケサンの武部興征社長(右)＝9日午後、東京・銀座

社員自ら贈答用米生産

棚田地域の振興に貢献する企業や団体を顕彰しようと創設された「つなぐ棚田遺産」感謝状の贈呈式が東京都内であり、特に優れた取り組みを実践しているタケサンフーズ(小豆島町)など5団体に特別感謝状が贈られた。

感謝状は、高齢化による担い手不足や諸課題の解決を目的に多様な活動を展開する企業や団体などを選

び、棚田地域から感謝の気持ちを伝えようと、農林水産省が本年度設けた。

独自の取り組みを行うクリエイティブ部門でタケサンフーズなど16団体、長年の取り組みを評価する未来へつなぐ部門で17団体、複数の棚田地域で展開する人と人をつなぐ部門で6団体の計39団体が全国から選

ばれた。

タケサンフーズは、自社製品のつくだ煮を小豆島の米で食べてもらおうと、2021年に棚田米のプレゼント企画を実施。翌年にはグループ内社員から「棚田部」部員を募り、小豆島町中山棚田協議会が主催する「棚田アカデミー」に参加して、プレゼント用の米を自ら生産するといった発想の独自性が評価された。

贈呈式は9日であり、特別感謝状を受け取ったタケサンフーズ役員でタケサンの武部興征社長は「グループのクラブ活動の一環として、社員が自発的に楽しみながら棚田米作りに取り組んでいる。今後も地元の方々の指導を得て継続できれば」と抱負を述べた。

【つなぐ棚田遺産 感謝状授与式の様子 四国新聞の記事】

2023年3月9日に農林水産省「つなぐ棚田遺産」感謝状授与式が行われました。(時事通信社) 弊社は2022年8月に棚田保全が目的の「棚田サポーター」として認定されていました。そこから、実際の棚田での米作りを行い、そこで採れたお米をタケサンフーズの佃煮商品の購入者へプレゼントしたと事が評価されたようです。

これからも継続して棚田保全の活動に参加していこうと思います。

タケサンフーズ株式会社